

～登山愛好家・ハイキング愛好家の方へ～

冬山における山岳遭難は命に係わる事案に発展する可能性が特に高いことから、山岳遭難防止に十分配意してください。

山岳遭難防止に向けて

しっかりと計画を立てて登山に臨みましょう。

○ 登山計画の策定

登山計画は、できる限り参加者全員で立て、日程やルート、装備品等を全員に周知しておくことが大切です。

・ 日程・ルート

最も体力や経験がない人を基準にルートを選ぶほか、日程に余裕のある計画を立てましょう。

・ 装備

低い山であっても侮ることなく、スマートフォン（携帯電話）と予備バッテリー、ラジオ、地図、方位磁石、非常食、ライト、雨衣などを準備しておきましょう。

○ 登山届の提出

登山計画を立てたら登山届を作成し、家族や職場、所属する山岳会、入山地を管轄する警察署（管轄署が不明な場合は警察本部地域企画課）に提出しましょう。

万が一、遭難したときに、捜索の重要な手掛かりとなります。



○ オンライン登山届受理システム「コンパス」を御存じですか？

兵庫県警察では、山岳安全対策ネットワーク協議会が運営するオンライン登山届受理システム「コンパス」に提出された登山届の情報を遭難者の捜索等に活用しています。

「コンパス」を利用すれば、インターネット上で簡単に登山届を作成・提出することができます。

「コンパス」には、兵庫県警察のホームページや下記のURL等からもアクセスできますので、ご利用ください。



URL

<https://www.mt-compass.com>

二次元コード



検索ワード

登山のコンパス

検索

安全な登山に向けて

○ 登山は「万全な体調」で

毎年、登山中の体調不良による山岳遭難が発生しています。

登山には万全の体調で臨み、体調不良時は登山を控えましょう。

また、登山中も水分等の補給に努め、体の不調を感じたときは直ちに登山を中止し、状況によっては救助を要請しましょう。

○ 無計画な登山や安易なルート変更はやめましょう

県内の山岳遭難で、一番多いのが「道迷い」です。

日が暮れて道が分からなくなったり、急にルートを変更して道に迷ったりするケースが散見されます。

知らない道や暗闇の中で危険な目に遭わないためにも、安易なルート変更は控え、計画的な登山に努めましょう。